

| | |
|---------------|---|
| Title | 巻頭言 |
| Author(s) | 高野, 正子 |
| Citation | 大阪公衆衛生. 92 p.2-p.3 |
| Issue Date | 2021-03 |
| oaire:version | VoR |
| URL | https://hdl.handle.net/11094/79269 |
| rights | |
| Note | |

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

高野 正子

公益財団法人大阪公衆衛生協会会長

令和2年は年初に新型コロナウイルス感染症の流行ではじまりました。令和3年も、大阪には2回目の緊急事態宣言が発出されている状況にあります。新型コロナウイルス感染症に対して、地方自治体、中でも保健所や保健師の存在が世の中に知られることとなりました。その状況下でありながら、大阪公衆衛生協会は法人としての歴史に終止符を打つことになりました。

大阪公衆衛生協会が発足したのは昭和29年です。昭和22年9月に保健所法が全面改正され(新)保健所法が制定されました。また、GHQ指令により全国の医科大学に公衆衛生学講座が開設されました。大阪大学医学部に公衆衛生学教室が設置されたのは昭和22年7月15日のことです。しかし、当初は衛生学教室の梶原三郎教授が併任され、初代の専任教授の関悌四郎先生が就任されたのは昭和26年9月のことでした。

関悌四郎教授は、大阪大学微生物病研究所の微生物学者でしたが、大学の命により、試験管と白衣を捨て、日本で初めての公衆衛生学講座の主任教授に就任されました。一から公衆衛生を学び、本物の公衆衛生を日本に具現化しようと奮闘されることになりました。どうやらイギリスの公衆衛生を手本とされたようです。当時のイギリスの公衆衛生は、自治体の公衆衛生でした。また、民間団体による公衆衛生でした。そのために昭和29年に「大阪公衆衛生協会」を設立されたものと思われます。大阪公衆衛生協会を公衆衛生の母胎として、大阪府衛生部(現健康医療部)と府内の保健所が集い、大阪の関係者が一丸となって新しい公衆衛生を大阪で産み出そうとされたのではないかと推測しています。当時は、保健所法が改正されたとは言え、食品衛生法や結核予防法が新しく制定されたものの、母子保健法、精神保健法、老人保健法、地域保健法、健康増進法などの公衆衛生関連法規は全く存在していない状況にありました。

大阪府と大阪大学が手を携えて、大阪の公衆衛生の課題を吸い上げ、その課題を解決するために一体となって大阪の公衆衛生をつくりあげてきた

と言えます。現在は、公衆衛生関連法規は整えられ、大阪の公衆衛生は、大阪府、大阪市から市町村、さらに市町村の中には中核市となり保健所を設置するところも増えてきています。公衆衛生に関連する法制度も整備されて、それに基づき、自治体や事業者が公衆衛生事業を進めることが一般的となっており、当時の状況とは一変しています。当協会が発足した時代は関係者が集まり喧々ガクガクの議論をして、保健事業を進めざるを得なかった時代からすると隔世の感がいたします。このことは、機関紙「大阪公衆衛生」の文章を拝読することで何うことができます。機関誌は、昭和33年7月に第1号が発刊されてから第92号となります。本号が最終号となります。

大阪公衆衛生協会は、令和3年3月で解散となりますが、大阪の公衆衛生は、大阪府等の自治体、大学等の研究機関、民間の団体や事業者でさらに発展させていくことが求められています。そのためには大阪で創り上げられてきた戦後の公衆衛生の歴史を知ることが不可欠です。最終号は、これまでの大阪の公衆衛生を知る上で必須のものを厳選して編纂させていただきました。

なお、機関誌「大阪公衆衛生」の全号については大阪大学の図書館に置いていただけることになりました。当協会は大阪大学により産み出されたものですが、当協会の足跡を大阪大学に残せることになったことは感無量に思っています。この幹旋の労は、大阪大学の林田雅至教授がとって下されました。ここで、あらためて感謝申し上げます。

さて、当協会は、平成25年に公益財団法人として再出発しましたが低金利時代に突入し、また地域保健法施行後は法人としての経営環境の厳しさは増すばかりであり、前述した通り、設立時の所期の目的を達したとの判断から、残すべき一部の事業を他の機関に引き継ぎ、解散することとなりました。法人の経営者として、申し訳なく思っています。

最後に、当協会が設立してから67年もの間、協会の事業には、大阪府及び府内全市町村の公衆衛生関係者が、会員、事業を行う部会の幹事、また

講演会やシンポジウム、セミナーの参加者として
ご理解とご協力をいただきましたことに感謝して
います。

機関誌「大阪公衆衛生」の最終号をもとに皆様

方に先人の思いと努力を引き継ぎ、大阪の次代の
公衆衛生を発展させていただきますよう、お願い
申し上げます。

一般財団法人 大阪府結核予防会



大阪総合健診センターまでお電話を…



大阪総合健診センター（中央区 淀屋橋）

なんでもお気軽にご相談ください

こんなケースをお考えのとき

- ・ドック・生活習慣病健診について聞きたいとき
- ・特定健診、特定保健指導について聞きたいとき
- ・出張健診、施設健診について知りたいとき
- ・主婦・家族健診をとりあげたいとき
- ・法規の健康診断を行いたいとき
- ・各種がん検診を相談したいとき
- ・職業性疾患の健診で困っているとき
- ・健康相談、健康教育に取り組むとき

○大阪総合健診センター

〒541-0045
大阪市中央区道修町4丁目6番5号
TEL:06-6202-6666(代) FAX:06-6202-6686
(予約専用ダイヤル 06-6202-6667)
<http://www.jata-osaka.or.jp>
e-mail info@jata-osaka.or.jp
京阪電鉄「淀屋橋」駅から徒歩10分
地下鉄御堂筋線「淀屋橋」駅から徒歩5分

○大阪病院・大阪総合健診センター寝屋川

〒572-0854
大阪府寝屋川市寝屋川公園2276-1
TEL:072-821-4781(代) FAX:072-824-2312
e-mail webmaster@osaka-hospital.jp
JR 学研都市線「星田」駅から送迎バス約5分
京阪電鉄「寝屋川市」駅から送迎バス約15分

○堺高島屋内診療所

〒590-0028
大阪府堺市堺区三国ヶ丘御幸通59
高島屋堺店内5F
TEL:072-221-5515(代) FAX:072-223-8534
e-mail sakai@jata-osaka.or.jp
南海電鉄高野線「堺東」駅から徒歩すぐ